

5月臨時会 議案審議

新型コロナウイルス感染症対策関連及び補正予算等の専決処分などを審議
監査委員に笠原旦彦さんの再任と議会選出の監査委員に橋本正彦議員の選任を同意

一般会計補正予算(専決処分)

◆令和3年度高山市一般会計補正予算(第1号)
5千7百万円

- ひとり親世帯生活支援特別給付金の給付

◆令和2年度高山市一般会計補正予算(第19号)
約3千4百万円

- 飛騨高山ふるさと基金等への積立て

新型コロナウイルス対策関係など

◆令和3年度高山市一般会計補正予算(第2号)
約1億4千6百万円

- 高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種に係る移動支援

(内容)高齢者に対する新型コロナウイルスワクチンの集団接種の接種会場までの移動手段を確保するための支援



- 産業雇用安定支援事業補助金

(内容)新型コロナウイルスの影響で事業の縮小を余儀なくされている事業者が国の雇用安定助成金を活用し、在籍型の出向で労働者の雇用を維持する場合に、出向元の事業者負担分を支援するもの

- 教育旅行促進事業補助金

(内容)教育旅行で本市を訪れる学生に対し市内で使用できる商品券を配布し、教育旅行の誘致を図るとともに、市内の観光施設、飲食店、土産品店等の利用を促進するもの



- 中小企業生産性革命推進事業補助金

(内容)市内事業者が行うポストコロナ社会を踏まえた新事業の創出や高付加価値化の取組を支援するため、令和2年度からの生産性革命推進事業に加え、国や県において創設された事業再構築補助金やアフターコロナ対応新商品開発支援補助金などを活用

する事業者の自己負担を一部助成するもの

■主な質疑

問 長引くコロナ社会の中で、市内は本当にじり貧な状況になっている。中小企業生産性革命推進事業補助金は、ポストコロナ社会を見据えてということであるが、そこまで行き着かない事業者への支援は。

答 市では、雇用維持に対する支援として雇用調整助成金の事業者負担分を支援しており、新年度もあらゆる融資に対し利子補給、保証料補給を実施している。また、産業団体に対しては、消費活性化策への補助金やプレミアム付き商品券事業など様々な取組で支援している。

問 産業雇用安定支援事業補助金の活用実績は。市内において、現状、出向を求めている業種と休業している業種をどう把握しているか。また、受け入れられる業種は。

答 ハローワークに確認したところ、現在、市内の事業所において活用の実績はない。しかし、制度とは別に、製造業で好調な事業所は人手不足で、宿泊事業者から従業員を一時的に雇用された事例はある。

問 教育旅行に対する補助金を計上されているが、むしろ宿泊旅行者全員を対象を広げる考えはないか。

答 宿泊業への支援は、産業団体補助を活用した各組合の宿泊割引等を上半期、9月までに6本実施する予定であり、それらの周知等をしっかり行う。



問 高山では徹底して感染防止対策が講じられており、飲食店によるクラスターなども発生していないことなども一緒にアピールし、観光客を呼び込むべきと考える。全国にアピールする方法は考えているか。

答 国や県の動き、地域の諸団体の方々の取組と重複しないよう効果的な事業を考える。補正予算の提出や議会との協議も検討したい。